



第 16 回例会

2023.11.29

会員 70 名中 56 名出席 出席率 80.00%

修正 60 名出席 出席率 85.71%

メイクアップ 4 名

クラブテーマ

「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」

方針

1. ローターアクトの地位向上
2. 女兒のエンパワメント
3. DEI の促進
4. ポリオ根絶
5. ローター行動計画の実施

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



11 月 12 日(日曜日)地区大会で出席者数[登録は全員登録ですが]は 29 名で参加させて頂きました。地区大会では当クラブからも多くの受賞者が選ばれ、その中でも長寿会員(91 歳以上会員)では三浦善治さんが 9 名の代表でステージにて表彰されました。本当におめでとう御座いました。

講演は鎌田實先生の話で足は第 2 の心臓とのことで足の筋肉を鍛えることで健康を維持出来るとのことでスクワットの仕方を会場内で行われました。出来れば当クラブでも例会前に早く来た人から健康を考え足の筋肉を強化することを目的に 2~3 分間スクワットを例会に臨んでみては如何かと思っております。



11 月 15 日二本松ロータリークラブでのオープン例会が開催され日本銀行福島支店長 中嶋基晴様の講演で、「日本経済の現状と先行き、

福島県の経済情勢、経済の先行きを占ううえでのポイント、最近の物価上昇の捉え方」について講演を聞くことができました。当クラブからは私、大橋パストガバナー、赤間会長エレクト、鈴木洋子幹事、鈴木光一会場監督、渡邊正義直前会長、菊池和宏会長ノミニの 7 名で参加させて頂きました。

今後とも他クラブの例会でのメイクアップをすることによってとても勉強になる事と思しますので是非、会員の皆様も他クラブのメイクアップをお勧めさせて頂きまして会長挨拶とさせて頂きます。



◆米山奨学生授与(リッ・インイさん) ◆誕生祝い(10、11 月誕生者)



11 月 10 日生 三浦 善治 会員

11 月 15 日生 渡邊 勝 会員

11 月 25 日生 丹治 洋子 会員

10 月 3 日生 安永 真悟 会員

10 月 7 日生 松崎 弘昭 会員

◆ロータリーの友の時間 大野 順道 委員



RC 情報教育委員会 大野 順道 委員より、ロータリーの友 11 月号の読みどころをご紹介します。福島の保原 RC がルワンダの住民に自立支援をしていること、見直される学びのあり方としてトレーニングからラーニングへという題の座談会の内容が掲載されていること、緒方貞子さんの強みを支えたロータリーでの経験の内容が掲載されていることなどをご紹介します。

◆福島西ロータリークラブ会長、創立40周年記念式典実行委員長ご挨拶

福島西ロータリークラブ
会長 渡辺 敬藏 様



福島西ロータリークラブ
創立40周年記念式典
実行委員長 西形 健吉 様



◆会員スピーチ① 高橋 勇雄 さん



当クラブには、姉妹クラブとして麴町ロータリークラブが有ります。麴町RCは、ポリオ撲滅を世界に広げた事はあまりにも有名です。震災時、2530地区のガバナーは当クラブの大橋廣治ガバナーでした。義捐金、支援物資は国内外から想像を超える量が連日送られてきました。大変な苦勞と共にクラブ会員同士に、深い「きずな」が生まれる事にもなりました。麴町ロータリークラブでは、多額の義捐金を早々に送り、更に理事会では、「このまま終わっていいのかよ、継続支援が必要だろ」との声に被災地との繋がりを前提に、当クラブとの姉妹クラブ締結となりました。その理事会で声をあげたのは、言うまでも無い後の若林ガバナーでした。その麴町、13年たった今でも支援を継続しています。麴町との関係は、相互扶助、これは、麴町に限らず同様に、国内外のクラブに対しても相互扶助の関係にあります。前回、トルコ地震に、当クラブ単独で200万円の義捐金を送ったのもその一環でした。直近では、南海トラフが控えています。南海、東海、東南海、判割れ、どれがいつ起きるか判りませんがその時にこそ、2530地区を挙げて、東日本大震災で受けた恩返しその必要性を訴える事が出来るのは、時の私達がガバナークラブの責任です。東日本大震災、国内外からの義捐金、支援物資の数々、受けた恩を語り続ける事が、使命と感じ、今日のスピーチとしました。今一度、そして折に触れ、「ロータリー東日本大震災、支援報告書」をネット上から閲覧して頂きたいと思ひます。「絆」この言葉をもう一度振り返り、活動の原点に活かして頂きたいと思ひ本日のテーマといたしました。

◆会員スピーチ② 赤間 浩一 さん



今日は近況を含め、改めて自己紹介をさせて頂きたいと思ひます。福島市笹木野在住で、家族構成は私と妻と子供が5人おりますが、一番上は大学に進学し埼玉県で一人暮らしをしております。平成12年12月に福島に戻ってこれからお話しする今の会社に入社することになりました。会社名は芝精機株式会社、業種は製造業です。創業日は昭和54年5月7日私が4歳の時です。創業当時から変わらず自動車用のモーターを作る仕事をしています。

1年8か月前までは福島市松川町にある会社様からお仕事を頂いておりましたが、作る物は変わらないのですが、色々あって今は東京に本社がある会社様とお取引をさせて頂いております。その引き合いがどうなったかと言いますと、無事に課題をクリアすることが出来てお仕事を頂くことが出来るようになりました。この課題をクリアするために実は当クラブの数名の方に色々な相談をしており、その相談から導き出された方向に進んだ結果、受注に繋がったのです。この原稿を書いていて思い出したことがあります。それは、ロータリーの目的です。ロータリーの目的の第1に知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。第2に職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすることとあります。

今回の件で申し上げますと、ここで知り合った皆さんに応援して頂いた結果お仕事を頂く事が出来たと思っておりますので、私が次にとる行動は、ここにいる皆さんや社会へ恩返しをすることと、お仕事を発注してくれる会社様へより高いパフォーマンスによる仕事で恩返しをすることだと思っております。私はまさにここにいる皆さんと過ごすことによって自然とロータリーの目的が実践されているのだと感じました。

10年の時が過ぎていよいよ次年度は会長と言う立場になってしまいましたが、気張らず、気負わず、楽しく活動して行きたいと考えておりますのでその際には皆さんのお力添えを頂きたいと思ひますので、何卒よろしくお願ひいたします。